



企画展 開館15周年記念

鎌倉・川喜多邸を 訪れた映画人

15th Anniversary Exhibition:
**Filmmakers at the Kawakita Residence
in Kamakura**

2025.8.2 [土] → **11.24** [月・振]

企画展観覧料: 一般300(210)円 / 小・中学生150(100)円 * ()内は20名以上の団体料金

鎌倉市川喜多映画記念館

― 田中絹代、笠智衆から
アラン・ドロン、ヴィム・ヴェンダースまで ―



企画展

開館15周年記念 鎌倉・川喜多邸を訪れた映画人

鎌倉市川喜多映画記念館は、映画を通して国際交流に尽力した川喜多長政・かしこ夫妻が暮らした旧宅跡に2010(平成22)年4月に開館し、今年15周年を迎えました。

かつてこの地は、田中絹代、笠智衆やアラン・ドロン、ヴィム・ヴェンダースら国内外の映画人が訪れ、国際交流の場となりました。川喜多夫妻の心を込めたおもてなしは、映画に生涯を捧げた一人娘・和子にも引き継





旧川喜多邸別邸(旧和辻邸)

1961(昭和36)年、練馬で暮らした哲学者・和辻哲郎が使用していた江戸時代の民家を隣に移築し、国内外の映画人を招いてもてなしました。普段は非公開ですが、右の日程およびギャラリートークの際にご覧いただけます。

解説付き見学会 (要展示観覧料)	企画展会期中の 毎月第2・第4土曜日 13:00～(約20分)	*一般公開、解説付き見学会は土間までの入場となります。特別公開は靴を脱いで邸内をご覧ください。
一般公開(無料)	10.4(土)・5(日) 各日10:00～16:00	*いずれの公開も天候等の事情により中止となる場合があります。
特別公開 (要展示観覧料)	11.1(土)～3(月・祝) 各日10:00～16:00	

※10月に、一部展示替えを予定しています。※11.3(月・祝)は展示観覧料無料(どなたさまも無料でご観覧いただけます。)

特別上映

**8.30(土)
13:30**

チケット発売日
7.12(土)

『太陽がいっぱい』上映＋トークイベント
「アラン・ドロン
よみがえる太陽の神話」

もり ゆうき
森 遊机さん(映画研究者／書籍編集者)

**9.28(日)
12:30**

チケット発売日
8.9(土)

ばんせいりゅうほう
『萬世流芳』上映＋トークイベント
「川喜多長政 仕事と人」

さいち ちものり
佐伯知紀さん(映画映像研究者/特定非営利活動法人 映像産業振興機構顧問)

類いまれな美貌と無二の存在感でファンを魅了、恋愛映画からノワール系アクション、TVのCM出演まで多彩に活躍し、親日家としても知られた大スター、アラン・ドロン。数々の苦難に見舞われながらもそのつど華麗に復活し、昨年8月に89歳の生涯を全うした彼の素顔と功績を、書籍「アラン・ドロンとフランス映画の時代(仮題)」(DU BOOKS・今冬刊行予定)を執筆中の森遊机さんに、多数の資料をもとにお話しいただきます。

料金：一般 1,900 円／小・中学生 950 円 (展示観覧料含む)

がれ、現在も残る別邸は、訪れた映画人たちの当時の様子を物語っています。

開館15周年を記念した本展では、川喜多夫妻による映画界への貢献を振り返るとともに、かつてこの場所を訪れた映画人との交流を紹介します。会期中は別邸の解説付き見学会や、関連上映、トークイベントも開催します。ぜひこの機会に皆様のご来場をお待ちしています。

アラン・ドロン出演作

① 太陽がいっぱい 4Kレストア版

**8.26(火)・29(金) 10:30
8.27(水) 14:00
8.30(土) 特別上映 13:30**



大富豪の息子とヨットで海に出た貧しい青年が、船上での殺人の末に彼になりますし、財産と恋人を手に入れようとする…。ニーノ・ロータによるテーマ曲の旋律とともに、アラン・ドロンの名を一躍世界に轟かせた不朽の犯罪サスペンス。

1960年／フランス＝イタリア／カラー／119分／DCP
監督:ルネ・クレマン 原作:ノットシア・ハイスマス 出演:アラン・ドロン、モーリス・ロネ、マリー・ラフォレ

川喜多長政関連作

⑦ 東洋平和の道

**9.27(土) 10:30
9.23(火・祝)・26(金) 14:00**



1937年、父の代から縁が深かった中国との戦争勃発に心を痛め、記録映画製作のため中国に赴いた長政だったが、戦禍の中で大地を耕す農民の姿から東洋の平和を見出そうと劇映画に方向転換した作品。出演者は一般募集で選ばれた。

1938年／東和商事／白黒／101分／35mm
監督:鈴木重吉、張速生
出演:李明、仲秋芳、李飛宇、徐聰、白光

今日出海

⑬ 愛情の決算

**11.12(水)・15(土) 10:30
11.13(木)・16(日) 14:00**



小説・評論など幅広く活躍した鎌倉文士・今日出海の小説を映画化。戦争で夫を失い戦友の一人と再婚するも、やがて別の戦友と関係を持つ、不貞の人妻を原節子が演じる。戦争の影を背負った再婚相手を演じる佐分利信が監督も務めた作品。

1956年／東宝／白黒／113分／35mm
監督:佐分利信 原作:今日出海[この十年]
出演:原節子、佐分利信、三船敏郎、小林桂樹、八千草薫、田中春男

② 太陽はひとりぼっち

**8.28(木)・31(日) 10:30
8.26(火)・29(金) 14:00**



急速な近代化が生む人間性の喪失を底流に、婚約者と別れ新たな恋を始めようとする女性をモニカ・ヴィッティが倦怠感たっぷりに演じた、『情事』『夜』に続く「愛の不毛三部作」。原題は『日食 (L'eclisse)』だが邦題はアラン・ドロン人気による。

1962年／イタリア＝フランス／白黒／126分／Blu-ray
監督:ミケランジェロ・アントニオーニ 出演:モニカ・ヴィッティ、アラン・ドロン、フランシス・コラバル

⑧ 萬世流芳

ばんせいりゅうほう
*音声に一部欠落あり
(英語字幕付上映)
**9.25(木) 10:30
9.24(水) 14:00
9.28(日) 特別上映 12:30**



軍部の要請により中華電影を率いた長政は、“中国人の、中国人による、中国人のための映画”を掲げた。満映から李香蘭を招いた本作は、スター女優の共演が話題となり大ヒット。山口淑子は引揚げ直後に鎌倉・川喜多邸に滞在した。

1942年／中華聯合製片＝中華電影＝満映／白黒／151分／Blu-ray
監督:朱石麟、卜萬蒼、馬徐維邦、張善琨、楊小仲 出演:高占非、李香蘭(山口淑子)、陳雲裳、袁美雲、王引

鎌倉文士原作・鎌倉舞台の映画

⑭ 千羽鶴

**11.18(火)・21(金) 10:30
11.19(水)・22(土) 14:00**



川端康成が数年かけて断続的に発表した戦後の代表作を映画化。鎌倉・円覚寺の茶会で、今は亡き愛人の息子と出会い強く惹かれていく女性と、彼女をめぐる展開する愛憎劇を、茶の湯の主題とともに描く。1969年に映画化された。

1953年／大映／白黒／111分／35mm
監督:吉村公三郎 原作:川端康成
出演:木暮実千代、乙羽信子、木村三津子、杉村春子、森雅之

③ サムライ *東京日仏学院所蔵作品

**8.27(水)・30(土) 10:30
8.28(木)・31(日) 14:00**



トレンチコートに中折れ帽姿、一羽のカナリアを抛りどころに淡々と仕事を遂行する一匹狼の殺し屋を“侍”のイメージに重ねたフレンチ・ノワールの名作。アラン・ドロンは本作で、これまでとは異なる孤独で寡黙な俳優像を確立した。

1967年／フランス＝イタリア／カラー／105分／35mm
監督:ジャン＝ピエール・メルヴィル 出演:アラン・ドロン、ナタリー・ドロン、カティ・ロジェ、フランソワ・ペリエ

小津安二郎×笠智衆×ヴィム・ヴェンダース

⑨ 東京物語 4K デジタル修復版

(英語字幕付上映)
**11.1(土) 10:30
10.28(火)・30(木)・11.2(日) 14:00**



尾道から上京し東京に暮らす子供たちを訪ねた老夫婦が、都人のせわしなさの中、戦死した次男の嫁の優しさに安らぎを見出していく小津映画の代表作。1957年、ロンドンの「日本映画シーズン」で初めて国外上映され批評家に激賞された。

1953年／松竹／白黒／135分／DCP
監督:小津安二郎
出演:笠智衆、東山千栄子、原節子、山村聰、杉村春子、三宅邦子、香川京子、中村伸郎

⑮ 日も月も

⑮ 日も月も

**11.20(木)・23(日・祝) 10:30
11.18(火)・21(金) 14:00**



父と二人鎌倉に暮らす娘が、自分を捨てた恋人や、父を捨てて出奔した継母との関係に傷つた、悲しみを背負いながらも日々を生きしていく姿を描く。ノーベル賞受賞直後の原作者・川端康成が江ノ電の乗客として顔を見ている。

1969年／松竹／カラー／98分／35mm
監督:中村登 原作:川端康成
出演:若下志麻、森雅之、久我美子、中山仁、石坂浩二、笠智衆

フランソワ・トリュフォー監督作

④ 突然炎のごとく

**9.9(火) 10:30
9.10(水)・12(金)・14(日) 14:00**



一人の女性と二人の男性の間の友情と恋模様を描いた、ヌーヴェルヴァーグの旗手・トリュフォーによる初期代表作の1本。1963年の第3回フランス映画祭で上映され、来日を果たしたトリュフォーは鎌倉・川喜多邸を訪れた。

1962年／フランス／白黒／107分／DCP
監督:フランソワ・トリュフォー 出演:ジャンヌ・モロー、オスカー・ウェルナー、アンリ・セール

⑩ 東京画

2Kレストア版
**11.2(日) 10:30
10.29(水)・31(金)・11.1(土) 14:00**



敬愛する小津安二郎が描いた“東京”を求めて、ヴェンダースが『東京物語』から30年後の近代化した東京を彷徨う旅日記。小津作品に欠かせない俳優、笠智衆との対話が鎌倉・川喜多邸別邸で行われるなど、川喜多家との縁が深い1作。

1985年／西ドイツ＝アメリカ／カラー／92分／DCP
監督:ナレーション:ヴィム・ヴェンダース 出演:笠智衆、厚田雄春、ヴェルナー・ヘルツォーク、クリス・マルケル

⑯ 辻が花

⑯ 辻が花

**11.19(水)・22(土) 10:30
11.20(木)・23(日・祝) 14:00**



鎌倉の呉服店で働く女性が夫の裏切りに遭い、周囲の目と年下の男性の間で揺れ動く姿を描いた、鎌倉文士・立原正秋による短編の映画化。モチーフである“辻が花”は、室町から安土桃山時代にかけて一世を風靡した絞り染めの技法。

1972年／松竹／カラー／88分／35mm
監督:中村登 原作:立原正秋
出演:若下志麻、佐野周二、中村玉緒、宝生あやこ、松坂慶子、笠智衆

川喜多長政関連作

⑥ 新しき土 〔日英版〕

**9.23(火・祝) 10:30
9.25(木)・27(土) 14:00**



長政にとって積年の夢であった国際合作映画。共同監督として日本から伊丹万作が参加したものの、ドイツ側のアーノルド・ファンクとの意見対立により結果的に2つのバージョンが作られた。今回は貴重な伊丹版での上映。

1937年／日本＝ドイツ／白黒／114分／35mm
監督:伊丹万作、アーノルド・ファンク 出演:小杉勇、原節子、早川雪洲、ルート・エヴェラー、英百合子

田中絹代

⑫ 結婚式・結婚式

**11.13(木)・16(日) 10:30
11.11(火)・14(金) 14:00**



父親の喜寿を祝うため鎌倉の家に集まった一家が、結婚をめぐって大騒動を繰り広げるホームドラマ。松竹のスターが勢ぞろいし、小津映画の名カメラマン・厚田雄春による撮影など松竹らしさ溢れるにぎやかで楽しい1作。

1963年／松竹／カラー／94分／35mm
監督:中村登 原作:松山善三「末広」 出演:岡田茉莉子、岩下志麻、田中絹代、伊志井寛、田村高廣、川津祐介、佐田啓二

企画展観覧料

一般 300(210)円
小・中学生 150(100)円
*()内は20名以上の団体料金
※鎌倉市民は展示観覧料が無料です。
入館時に住所が確認できる証明書をご提示ください。

映画鑑賞 (展示観覧料含む)

特別上映 (展示観覧料含む)

チケット発売開始日

**①～③ 7.12(土) ⑨～⑩ 9.13(土)
④～⑧ 8.9(土) ⑪～⑬ 10.11(土)**

チケット販売場所
鎌倉市川喜多映画記念館窓口
0467-23-2500
※友の会会員の方は、電話予約をご利用いただけます。

上映スケジュール

8月	企画展 関連上映 アラン・ドロン出演作 チケット発売日:7.12(土)	26 火	10:30 太陽がいっぱい(119分)	14:00 太陽はひとりぼっち(126分)+上映解説
		27 水	10:30 サムライ(105分)	14:00 太陽がいっぱい(119分)
		28 木	10:30 太陽はひとりぼっち(126分)	14:00 サムライ(105分)
		29 金	10:30 太陽がいっぱい(119分)	14:00 太陽はひとりぼっち(126分)
		30 土	10:30 サムライ(105分)	13:30 特別上映 太陽がいっぱい(119分)+トークイベント
9月	企画展 関連上映 フランソワ・トリュフォー 監督作 チケット発売日:8.9(土)	31 日	10:30 太陽はひとりぼっち(126分)	14:00 サムライ(105分)
		9 火	10:30 突然炎のごとく(107分)	14:00 終電車(134分)
		10 水		14:00 突然炎のごとく(107分)
		11 木		14:00 終電車(134分)
		12 金		14:00 突然炎のごとく(107分)
9月	企画展 関連上映 川喜多長政関連作 チケット発売日:8.9(土)	13 土		14:00 終電車(134分)
		14 日	10:30 終電車(134分)	14:00 突然炎のごとく(107分)+上映解説
		23 火・祝	10:30 新しき土[日英版](114分)	14:00 東洋平和の道(101分)
		24 水		14:00 萬世流芳(151分)
		25 木	10:30 萬世流芳(151分)	14:00 新しき土[日英版](114分)
10月	企画展 関連上映 小津安二郎×笠智衆 ×ヴィム・ヴェンダース チケット発売日:9.13(土)	26 金		14:00 東洋平和の道(101分)
		27 土	10:30 東洋平和の道(101分)	14:00 新しき土[日英版](114分)
		28 日		12:30 特別上映 萬世流芳(151分)+トークイベント
		28 火		14:00 東京物語(135分)
		29 水		14:00 東京画(92分)
11月	企画展 関連上映 田中絹代／今日出海 チケット発売日:10.11(土)	30 木		14:00 東京物語(135分)
		31 金		14:00 東京画(92分)
		1 土	10:30 東京物語(135分)	14:00 東京画(92分)
		2 日	10:30 東京画(92分)	14:00 東京物語(135分)+映画談話室
		11 火	10:30 黄色いからす(103分)	14:00 結婚式 結婚式(94分)
11月	企画展 関連上映 鎌倉文士原作・ 鎌倉舞台の映画 チケット発売日:10.11(土)	12 水	10:30 愛情の決算(113分)	14:00 黄色いからす(103分)
		13 木	10:30 結婚式 結婚式(94分)	14:00 愛情の決算(113分)
		14 金	10:30 黄色いからす(103分)	14:00 結婚式 結婚式(94分)
		15 土	10:30 愛情の決算(113分)	14:00 黄色いからす(103分)
		16 日	10:30 結婚式 結婚式(94分)	14:00 愛情の決算(113分)
11月	企画展 関連上映 鎌倉文士原作・ 鎌倉舞台の映画 チケット発売日:10.11(土)	18 火	10:30 千羽鶴(111分)	14:00 日も月も(98分)
		19 水	10:30 辻が花(88分)	14:00 千羽鶴(111分)
		20 木	10:30 日も月も(98分)	14:00 辻が花(88分)
		21 金	10:30 千羽鶴(111分)	14:00 日も月も(98分)
		22 土	10:30 辻が花(88分)	14:00 千羽鶴(111分)
11月	企画展 関連上映 鎌倉文士原作・ 鎌倉舞台の映画 チケット発売日:10.11(土)	23 日・祝	10:30 日も月も(98分)	14:00 辻が花(88分)

*その他、特集上映については2か月ごとに発行する「上映チラシ」をご覧ください。

ギャラリートーク(要展示観覧料/各40分)

展示のみどころについて、学芸員が解説します。

8.17(日)・9.23(火・祝)・10.26(日)・11.16(日)
各日13:00~

*終了後、旧和辻邸見学ツアーあり(約10分)

上映解説(要展示観覧料/各40分)

上映作品について、学芸員が解説します。

8.26(火)『太陽はひとりぼっち』
9.14(日)『突然炎のごとく』

上映後

映画談話室(要展示観覧料/各40分)

スタッフが進行役となり、解説も盛り込みながら映画について皆さまと語り合う時間です。

11.2(日)『東京物語』上映後

友の会会員募集中

年会費 2500円(有効期限:2026年3月末)

特典
○映画チケットの電話予約が可能
○1300円分の映画鑑賞引換券を2枚プレゼント
○展覧会観覧料がいつでも無料
○会員向けのイベントを実施

記念館窓口、郵便振替でお申し込みを受け付けています。詳しくはお問合せください。

表紙上部の写真、左から

- 川喜多邸別邸にて、田中絹代と今日出海(1973年)
- 川喜多邸別邸・書斎にて、川喜多かしこ長政夫妻
- 「東京画」撮影のために川喜多邸別邸を訪れたヴィム・ヴェンダース(左)とエドワード・ラックマン(右)(1983年)
- 川喜多邸別邸の縁側でインタビューを受ける笠智衆(「東京画」より)

表紙下部の写真

- 川喜多邸庭園にて、アラン・ドロン、川喜多和子(中)と川喜多かしこ(右)(1963年)



鎌倉市川喜多映画記念館

〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-2-12

☎0467-23-2500

開館時間: 9:00-17:00(入館は16:30まで)

休館: 月曜日(8.11、9.15、10.13、11.3、11.24は開館)

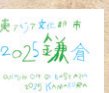
8.12(火)、9.16(火)、10.14(火)、11.4(火)

●駐車設備がありませんので、公共交通機関をご利用ください。

主催: 川喜多-KBSグループ

(鎌倉市川喜多映画記念館指定管理者)

*席数、入館時間等は状況により変更する場合がございます。詳しくはお問合せください。



<https://kamakura-kawakita.org>